● 写真はDVD-LV60のものです。
● DVD-PV40には液晶画面はありません。

Panasonic

ポータブルDVD／ビデオCD／CDプレーヤー

取扱説明書

品番 **DVD-LV60**
DVD-PV40

DVD VIDEO
COMPACT disc DIGITAL VIDEO

このたびは、ポータブルDVD／ビデオCD／CDプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なときにお読みください。

■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、
販売店からお受け取りください。

保証書別添付　**上手に使って上手に節電**

RQT5930-S

付属品のご確認

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。かっこ内の数字は買い替え時の品番を表します。

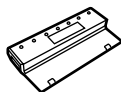
□ **リモコン**
（品番：N2QAHC000010）

□ **リモコン用ボタン電池**
（買い替え時の品番については、9ページをご参照ください。）

□ **電源コード**
（品番： VJA0536）

□ **AC アダプター**
（品番：N0JEEJ000001）

□ **音声／映像コード**
（品番： RJL3X001X15）

[DVD-PV40 のみ]
□ **S 端子ミニコード**
（品番： RFX4139）

[DVD-LV60 のみ]
□ **バッテリーパック**
（買い替え時の品番については、38ページをご参照ください。）

本書では、以下の記号を使用しています。

DVD-LV60 …DVD-LV60 のみで楽しめる機能
DVD-PV40 …DVD-PV40 のみで楽しめる機能

もくじ

本書は DVD-LV60 と DVD-PV40 について説明していますが、使用しているイラストは主に DVD-LV60 のものです。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■**表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

警告	**この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。**
注意	**この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

■**お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

分解、改造はしない

分解禁止

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店にご相談ください。

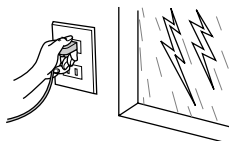
雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない

接触禁止

- 感電の恐れがあります。

異常があったときは電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

歩行中や、乗り物を運転中に使用しない

- 交通事故の原因になります。

警告

ACアダプターは付属品以外は使わない

●指定外のACアダプターを使うと、火災の原因になります。

カーアダプターは指定の製品以外使わない

●火災の原因になりますので、指定のヒューズ以外は使用しないでください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

●差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

●傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

ACアダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。

●傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

●コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

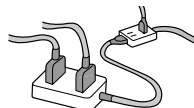
電源プラグのほこり等は定期的にとる

●プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

水をかけたり、濡らしたりしない

●本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない

●たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

●感電の原因になります。

⚠ 警告

ボタン電池は正しく取り扱う

- ⊕と⊖は正しく入れる
- 長期間使用しないときは、取り出しておく

ボタン電池は誤った使い方をしない

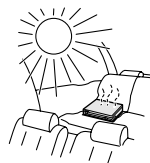
- **乳幼児の手の届く所に置かない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

- 誤って飲み込むと、胃や腸が損傷します。また、液が目に入ると、失明の恐れがあります。万一、このようなことが起こったら、すぐに医師にご相談ください。
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。

レーザー光を見つめない

- 視力障害の原因になります。

⚠ 注意

異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や直射日光の当たるところに長時間放置したり、ストーブの近くに置いたりしないでください。

ひざの上などで長時間使用しない

- 機器の底面が熱くなり、低温やけどの原因になります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量では、聴力に悪い影響を与える原因になります。

ひび割れ、変形、修復したディスクやハート型等の特殊形状のディスクは使用しない

- 本機の内部で割れて飛び散ると、けがの原因になります。

ディスクについて

DVD-ビデオのリージョン番号について

DVD-ビデオには発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた**リージョン番号**があります。本機の番号は**「2」**です。本機は**「2」**（または「2」を含むもの）と**「ALL」**が表示されたディスクの再生が可能です。
ディスクのジャケットもご参照ください。

例）

など

再生できるディスク

名称	ロゴ	記録内容	本書内マーク
DVD	DVD VIDEO / DVD VIDEO	音声と映像	DVD
ビデオ CD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO	音声と映像	VCD
音楽 CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO	音声	CD

CD-R/RW も再生できます。（☞12 ページ）

■ジャケット上のマークについて

下記は一例です。

<音声数>

<字幕数>

<アングル数>

●数字は記録されている音声／字幕／アングルの数を示す。

<記録されている音声の種類>

●ドルビーデジタル
本機では、このディスクを 2 チャンネルの音声で楽しめます。

●DTS デジタルサラウンド
DTS デコーダーを内蔵する機器（別売）と接続すると、DTS の音声を楽しめます。

<画面サイズ（横：縦）>

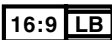
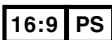
●4 ：3 の標準サイズ

LB

●レターボックス
4：3 で上下に黒帯が入った画面

16:9 LB

●16 ：9 のワイドサイズ
標準サイズのテレビでは、レターボックスで再生される。

16:9 PS

●16 ：9 のワイドサイズ
標準サイズのテレビでは、パン＆スキャン（両側または片側の切れた画面）で再生される。

●液晶画面に映し出される映像サイズは、表示モードによっても異なります。(☞23 ページ)

再生できないディスク

●リージョン番号**「2」「ALL」以外**の DVD ●PAL 方式の DVD ／ビデオ CD
●フォト CD ●CVD ●DVD-ROM ●CD-ROM ●CD-G ●DVD-RAM ●DVD-R
●CDV ●+RW ●DVD-RW ●DVD-Audio ●SACD ●SVCD ●VSD など

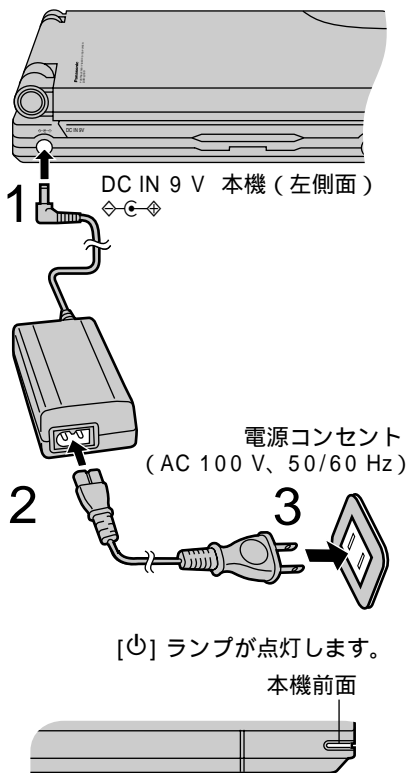
お知らせ

DVD、ビデオ CD には、ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しないものがあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

電源の準備

AC アダプター（付属）で使う

以下の手順で取りつけてください。

[⏻] ランプが点灯します。

お願い

付属の電源コード／AC アダプターは、本機専用です。他の機器に使用しないでください。

海外旅行のお供にも

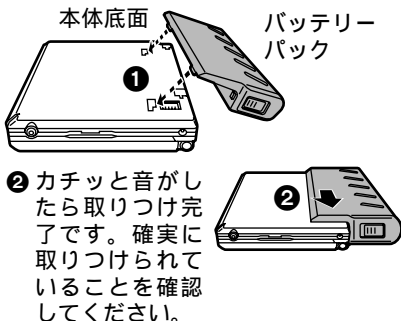
付属の AC アダプターは AC100 ～ 240 V の電源に使用できます。
- 旅行先のコンセントに合わせた変換プラグをご用意ください。

バッテリーパック（付属）で使う

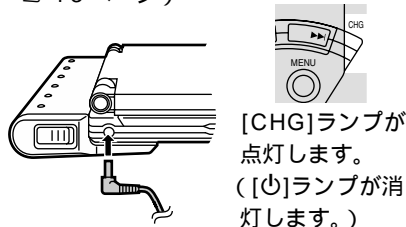
- バッテリーパックは DVD-PV40 では付属していません。（別売）品番については 38 ページをご参照ください。
- バッテリーパックの説明書もよくお読みください。
- 初めてご使用になる場合は、充電してからお使いください。

■取り付けるには

❶ 本体底面の穴に、バッテリーパックのガイドを合わせる。

❷ カチッと音がしたら取りつけ完了です。確実に取りつけられていることを確認してください。

■充電するには

バッテリーパックを取り付けた状態で、AC アダプターを接続してください。（☞ 左記）
- 充電できるのは電源が切れているときだけです。（「電源を切るには」☞13 ページ）

[CHG] ランプが点灯します。（[⏻] ランプが消灯します。）

[CHG] ランプが消えると充電終了

AC アダプターと電源コードを取り外してください。

品番：DY-DB60（リチウムイオン電池）

■充電時間と再生可能時間

充電時間（温度 20 ℃）	再生時間	
	液晶画面「入」	液晶画面「切」
DVD-LV60 約 5 時間	約 4 時間※	約 6 時間
DVD-PV40 約 5 時間	約 6 時間	

※ 画面の明るさのレベルが最小のとき（☞23 ページ）。レベルが 0 のときは約 3 時間になります。

- 上記の時間は使用条件により異なります。
- 充電中は表示窓（☞55 ページ）に充電量が表示されます。充電時間のおおよその目安としてください。

点滅 → 点滅 → 充電完了

少ない

■バッテリーの残量を確認するには

表示窓を見てください。

→ → → 点滅

多い　少ない　充電してください

■充電しても再生時間が極端に短いときは

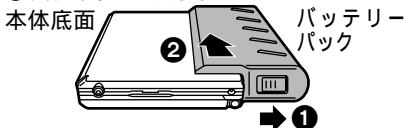
バッテリーパックの寿命です。
（充電回数約 300 回が目安です。）

■長期間使用しないときは

- バッテリーパックを取り外してください。（そのままにしておくと、電源「切」状態でも微少電流が流れていますので、過放電になり故障するおそれがあります。）
- 再使用時は充電してからお使いください。

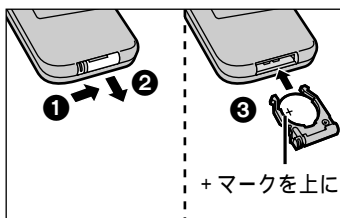
■取り外すには

❶スライドさせたまま

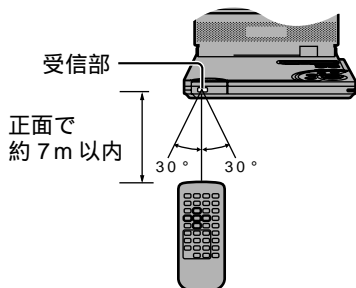
本体底面　❷　バッテリーパック　❶

充電式リチウムイオン電池について
使用済みの電池は、貴重な資源を守るために、廃棄しないで下記マークのあるリサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

リモコンの準備

ボタン電池（付属）を入れる

■電池の交換時期（1 年が目安です。）

- 下記の使用範囲内でリモコンを操作しても動かないときは、電池を交換してください。
  品番（市販品）**：CR2025**（リチウム電池）
- 廃棄する場合は、不燃ゴミとして処理してください。（または、地方自治体の条例に従ってください。）

使用範囲

お願い

- 受信部に強い光を当てない。
- リモコンと受信部の間に物を置かない。
- 他の機器のリモコンと同時に使わない。

テレビと接続する

10、11ページではDVD-PV40を例に説明していますが、DVD-LV60でも同様の接続・設定ができます。

準備

- 本機およびテレビの電源を「切」にしてください。
- テレビの説明書もよくお読みください。

映像入力端子　**テレビ（別売）**　音声入力端子

S映像入力
映像
音声入力
左
右

S映像入力端子付テレビには、S端子ミニコードで接続することをお薦めします。より鮮明な画像が得られます。

（黄）（白）（赤）

※S端子ミニコード（付属）

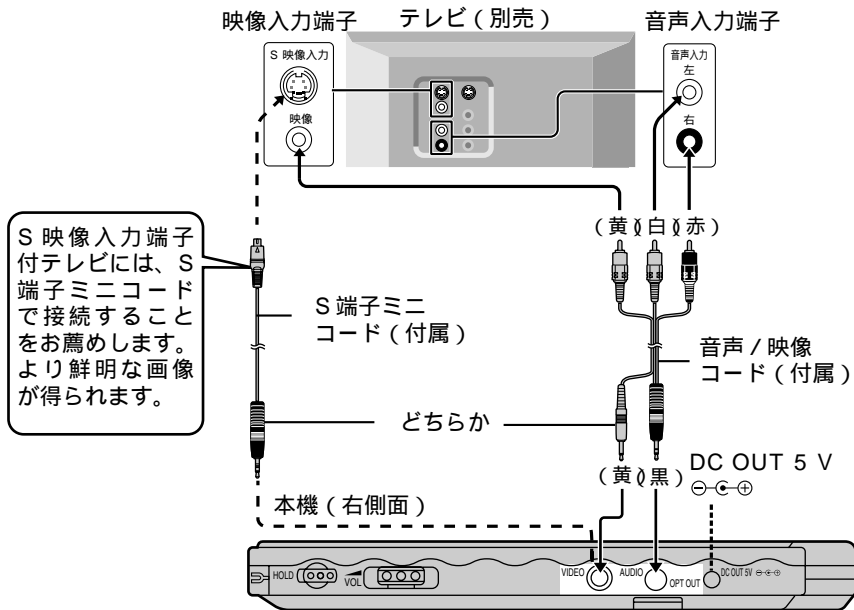
音声／映像コード（付属）

どちらか

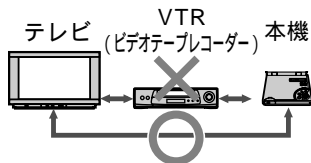
（黄）（黒）

DC OUT 5 V

本機（右側面）

HOLD　VOL　VIDEO　AUDIO　OPT OUT　DC OUT 5V

※S端子ミニコードは、DVD-LV60では付属していません。（別売）品番については38ページをご参照ください。

お願い

- 本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。VTR（ビデオテープレコーダー）やVTR内蔵テレビのビデオ側端子を経由して接続すると、コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。

- DVD再生時は、テレビ放送に比べて音量が小さく感じられます。DVDを再生したときにテレビの音量を上げ、その後テレビ放送に切り換える場合は、必ず元の音量に戻してください。突然大きな音が出ることがあります。

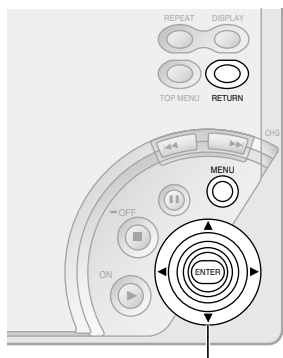
DVD-LV60

- 本機のスピーカーは、防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

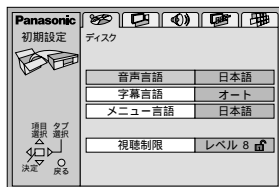
テレビに合わせて設定する

お持ちのテレビやお好みに合わせて設定を変えることができます。

準備

- 本機およびテレビの電源を入れてください。（☞13 ページ）
- テレビの外部入力を切り換えてください。

お知らせ

- ワイドサイズ（16 ： 9）のソフトの中には、この設定に関わらず、レターボックスでしか映らないものがあります。
- DVD の画面横縦比はディスクによってさまざまです。標準サイズ（4 ： 3）のテレビへの表示方法は右記の設定で選べますが、ワイドテレビ（16 ： 9）をお持ちのときは、テレビ側の画面モードで表示方法を変えることができます。

1 ［初期設定］または［MENU］（メニュー）を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル［◀, ▶］を操作して
“映像”を選ぶ

3 カーソル［▲、▼］を操作して
“TV アスペクト”を選び［ENTER］（決定）を押す

4 カーソル［▲、▼］を操作して
テレビ画面の横縦比を選び［ENTER］（決定）を押す

- **4 ： 3 パン&スキャン**
  （出荷時の設定）
  標準サイズのテレビ［ワイドサイズ（16 ： 9）のソフトをパン&スキャンで映したいとき］（ⓐ）
- **4 ： 3 レターボックス**
  標準サイズのテレビ［ワイドサイズ（16 ： 9）のソフトをレターボックスで映したいとき］（ⓑ）
- **16 ： 9**
  ワイドサイズのテレビ

ⓐ

ⓑ

5 ［初期設定］または［MENU］（メニュー）を押して
設定を終了する

■ひとつ前の画面に戻るには
［RETURN］（リターン）を押す

ディスクを再生する

表示窓

[⏻、電源]

[■]

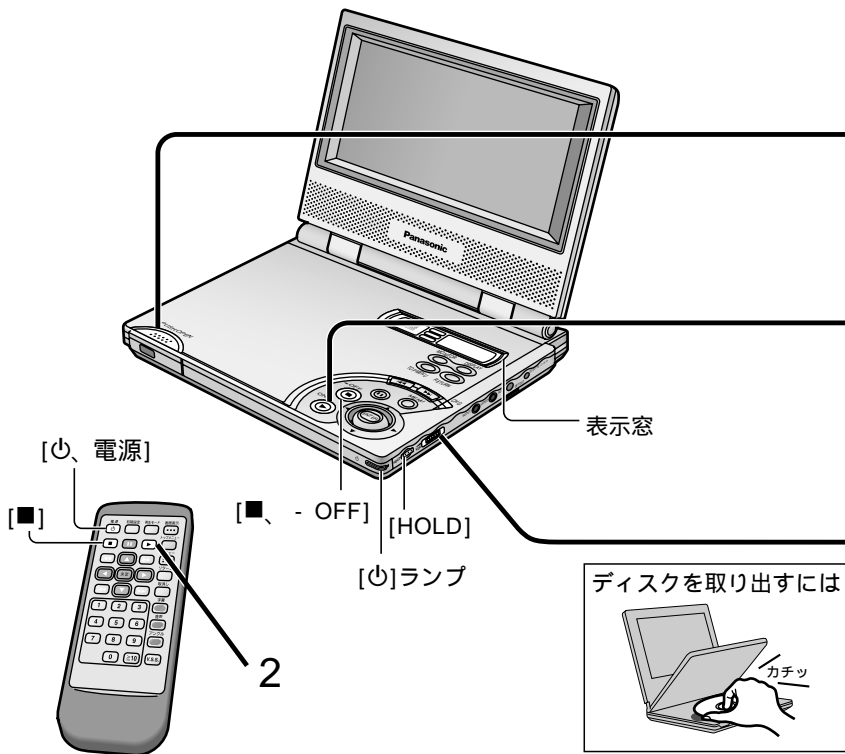
[■、ー OFF]

[HOLD]

[⏻]ランプ

2

ディスクを取り出すには

カチッ

CD-R ／ CD-RW ディスクについて

本機は、CD-DA フォーマットまたはビデオ CD フォーマットで記録され、録音終了時にファイナライズ※された音楽用の CD-R と CD-RW 再生に対応しています。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。
※音楽用 CD-R ／ CD-RW 再生対応機器で再生できるよう処理すること

■**誤動作を防ぐには**：[**HOLD**] を左方向へスライドさせる
ホールド状態になり、誤ってボタンを押しても操作を受け付けなくなります。この状態でボタンを押すと表示窓に " Ho ld " と表示され [⏻] ランプが点滅します。

解除するには：[**HOLD**] を右方向へスライドさせる

お知らせ

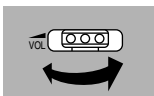
●長時間お使いになると本機が多少熱くなりますが、故障ではありません。

準備

- 電源の準備をしてください。（☞8、9 ページ）
- テレビの外部入力を切り換えてください。

DVD-LV60 液晶画面を起こしてください。

1

押してふたを開け、ディスクを入れる

入れ終わったらふたを閉める

2

押し続けて電源を入れ、再生を始める

メニュー画面を表示したときは
（☞14 ページ）

- 電源が入っているときは
  [▶、ON] を押すと、再生が始まります。

表示窓

1
0:01:23

チャプター／トラック番号（2 ケタまで表示）　**再生経過時間**

3

DVD-LV60

音量を調節する

（DVD-PV40 接続した機器で音量を調節する）

■“⃠”が表示されたときは

ディスクまたは本機で禁止されているため、その操作はできません。
それぞれ右記のマークが表示されます。

本機側

ディスク側

■電源を切るには

表示窓に“ bYE ”が表示されるまで、本体の **[■、− OFF]** を押しつづける。

■リモコンで電源を入／切するには

[⏻、電源] を押す。

- バッテリーパックだけで使用している時は、リモコンで電源を入れることができません。

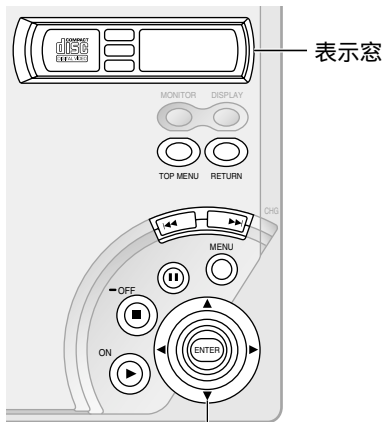
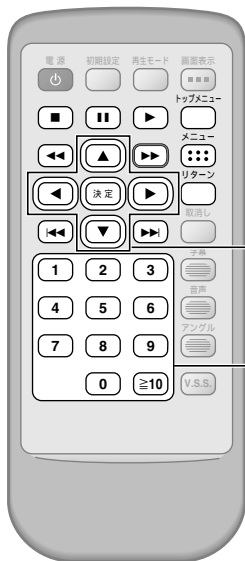
■節電のために

停止状態で約 15 分（バッテリーパック使用時は約 5 分）経過すると節電のため自動的に電源が切れます。（**オートパワーオフ**）ただし、本体やリモコンのボタンで電源を切った状態でも、約 0.8W の電力を消費しています。（AC アダプター使用時は、**[⏻]** ランプが点灯します。）長時間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

DVD-LV60

液晶画面を閉じているか、表示モードが“ 4 ”（オフ）になっている状態で（☞23 ページ）本体の電源が入っていると、本体の **[⏻]** ランプが点滅します。

〈本体操作部〉

表示窓

カーソルつまみ／[ENTER]

〈リモコン〉

カーソルボタン／[決定]

数字ボタン

メニュー画面を表示したときは

DVD VCD

例）

リモコンの**数字ボタン**を押して項目を選ぶ

■数字ボタンで 2 ケタの数字を入力するには

例）25 ：[≧10] → [2] → [5]

- DVD の場合、**カーソル [▲、▼、◀、▶]** を操作して項目を選び、**[ENTER]（決定）**を押しても選べます。

■メニュー画面に戻すには

再生中

DVD

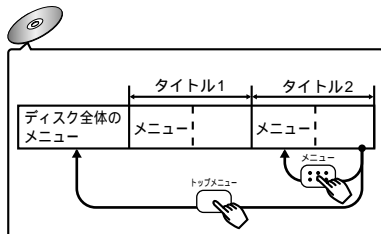
[MENU]（メニュー）を押す

VCD

[RETURN]（リターン）を押す

<複数のメニューを持つ DVD の場合>

[TOP MENU]（トップメニュー）を押してもメニュー画面に戻すことができますが、**[MENU]（メニュー）**を押した場合とは異なるメニューが表示される場合があります。

- 複数のメニューを持つ DVD の場合、ディスクによっては［|◀◀］または［▶▶|］で変えられる場合があります

お知らせ

- メニューの内容はディスクによって異なりますが、ここでは一般的な操作方法を紹介しています。
- メニュー画面表示中は、ディスクが回っています。再生しないときは **[■]** を押してください。

再生を止める

DVD VCD CD

再生中

[■]を押す

表示窓の “ ◀ ” RESUME 表示が点灯しているときは、止めた位置が記憶されています。(☞ 下記)

RESUME ◀

続き再生メモリー機能

DVD VCD CD

“ ◀ ” RESUME 表示点灯中、**[▶] (再生)** を押すと、止めた位置から再生が始まります。**(続き再生メモリー機能)**
DVD の場合は、さらに次の画面を表示します。

再生ボタンを押すと、
あらすじリプレイになります。

表示中に **[▶] (再生)** を押すと、記憶した位置までの各チャプターの冒頭を再生した後、その位置から再生が始まります。(**あらすじリプレイ**:同一タイトル内でのみ働きます。)

[▶] (再生) を押さずに放置しておくと画面表示が消え、記憶した位置から再生が始まります。

■続き再生メモリー機能を解除するには
[■]を押す

お知らせ

- あらすじリプレイのできないディスクもあります。
- 続き再生メモリー機能は
  - ふたを開けると解除されます。
  - 再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

早送り・早戻しする

DVD VCD CD

<本体>
再生中

[|◀◀] (戻る)、**[▶▶|]** (進む)
を押し続ける

<リモコン>
再生中

[◀◀] (戻る)、**[▶▶]** (進む) **を押す**

- 押し続けると(リモコンでは押すたびに)、速くなります。(5 段階)
- DVD/ビデオ CD は早送り 1 速時のみ音声が聞こえます。音声を消すこともできます。(“ 音声 ” の “ 早送り時の音声 ” ☞41 ページ)

静止(一時停止)する

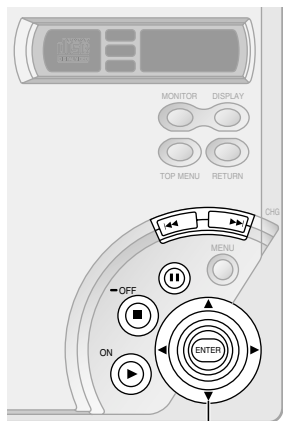
DVD VCD CD

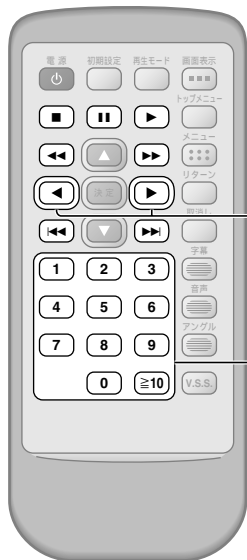
再生中

[❚❚]を押す

お知らせ

- PBC 付ビデオ CD(☞45 ページ)のメニュー再生中は、[|◀◀、▶▶|] や [◀◀、▶▶] が正しく働かないことがあります。
- 早送り・早戻し/静止(一時停止)では、**[▶] (再生)** を押すと通常再生に戻ります。

〈本体操作部〉

カーソルつまみ

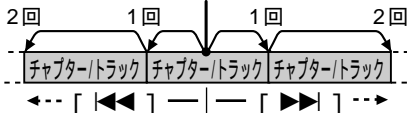
〈リモコン〉

カーソルボタン

数字ボタン

場面（チャプター）・曲（トラック）を飛びこす

DVD VCD CD

再生／静止（一時停止）中

[|◀◀]（戻る）、**[▶▶|]**（進む）**を押す**
押した回数だけ飛びこします。

スロー再生する

DVD VCD

<本体>
静止（一時停止）中

[|◀◀]（戻る※）、**[▶▶|]**（進む）
を押し続ける

<リモコン>
静止（一時停止）中

[◀◀]（戻る※）、**[▶▶]**（進む）
を押す
※ DVDのみ

- 押し続けると（リモコンでは押すたびに）、再生速度が速くなります。（5段階）
- **[▶]（再生）**を押すと通常再生に戻ります。

お知らせ

PBC付ビデオCD（☞45ページ）のメニュー再生中は、［|◀◀、▶▶|］や［◀◀、▶▶］が正しく働かないことがあります。

コマ送り・コマ戻しする

DVD VCD

静止（一時停止）中

カーソル［◀］（戻る※）**、［▶］**（進む）**を操作する**

※ DVDのみ

- 操作したままにすると連続してコマ送り／コマ戻し再生になります。
- **[▶]（再生）**を押すと通常再生に戻ります。
- **[❚❚]**を押してもコマ送りできます。

場面（タイトル）・曲（トラック）を番号指定で再生する リモコンのみ

DVD VCD※ CD

停止中

数字ボタンを押す

選んだタイトル／トラックから再生が始まります。

■数字ボタンで2ケタの数字を入力するには

例）25：［≧10］→［2］→［5］

- カラオケDVD、ビデオCD、CDの場合は再生中でも働きます。
  (PBC付ビデオCDの場合 ☞ 下記)
- ディスクによって働かないものがあります。

<※PBC付ビデオCDの場合>

メニュー再生中に操作するときは、まず［■］を押して、メニュー再生を解除してください。

表示窓の“PbC”が消灯します。

メニュー再生に戻すには

[▶]（再生）を押す

表示窓に“PbC”が点灯します。

音声・字幕・アングルを切り換える DVD リモコンのみ

〈リモコン〉

音声切換

再生中

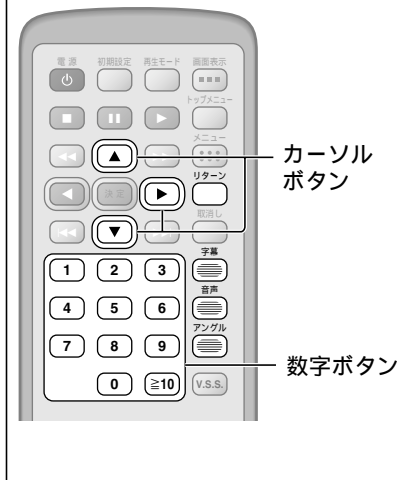
[音声]を押す

押すたびに番号が切り換わります。
(音声が記録されていないときは“ — ”と表示)

- カラオケディスクではボーカルの入／切ができます。詳しくはディスクのジャケットなどをご覧ください。

アングル切換

再生中

[アングル]を押す

押すたびに番号が切り換わります。

字幕切換

再生中

[字幕]を押す

押すたびに番号が切り換わります。
(字幕が記録されていないときは“ ーー ”と表示)

- 変更後は字幕が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

■字幕を「入」「切」するには

1 **[字幕]** を押す
2 **カーソル [▶]** を操作する
3 **カーソル [▲、▼]** を操作して“ 入 ”“ 切 ”を選ぶ

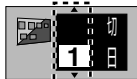
■音声／字幕／アングルの画面表示を消すには

[RETURN] (リターン) を押す

■“ ⃠ ”が表示されたときは

ディスクに記録されていない音声／字幕／アングル番号を選んでいるため、入力できません。

お知らせ

- **カーソル [▲、▼]** や**数字ボタン**で音声／字幕／アングル番号を選ぶこともできます。
- 一つしか音声／字幕／アングルが記録されていない場合は、△、▽ マークは表示されません。
- 最初から好みの言語で聞きたい／見たい場合は、音声／字幕言語の設定を行ってください。(“ ディスク ”メニュー ☞40 ページ)
- メニュー画面でのみ音声／字幕／アングルの切り換えができるディスクもあります。
- あらかじめアングル番号を指定しておくことができるディスクもあります。ディスクのジャケットなどもご参照ください。

V.S.S.（バーチャルサラウンドサウンド）で楽しむ リモコンのみ

〈リモコン〉

お知らせ

- ディスクによってサラウンド効果が出にくいものや、出ないものがあります。
- 音声がひずむ場合、V.S.S.を“ 切 ”にしてください。

DVD-LV60

- 本機のステレオスピーカーでは十分な効果は得られません。外部スピーカーを接続してお使いください。（接続した機器のサラウンド機能は「切」にしてください。）この場合、本機の **[◢ VOL]（音量）ダイヤル**を“ 0 ”（無音）にしてください。

DVD

（ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク）
音に広がりを与え、フロントスピーカー（L/R）だけでサラウンド効果を楽しむことができます。
サラウンド信号があるディスクの場合、音に広がりが出るほか、スピーカーの存在しない横方向からもサラウンド信号が出ているように聞こえます。

[V.S.S.] を押して

効果のレベルを切り換える

押すたびに表示窓の文字が切り換わります。

1（標準） ──→ **2（強）** ──→ **切** ──→ 1

＜効果的な視聴位置＞

再生の種類を切り換える

〈本体操作部〉 DVD-PV40

表示窓

REPEAT　DISPLAY

TOP MENU　RETURN

CHG

MENU

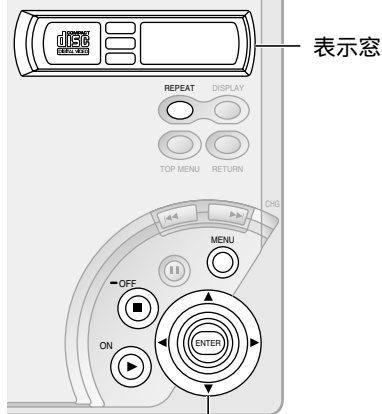
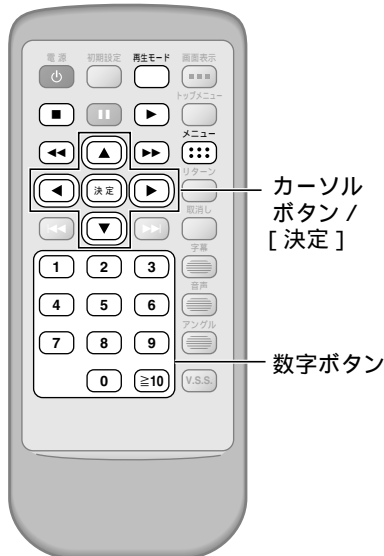
OFF

ON

ENTER

カーソルつまみ／[ENTER]

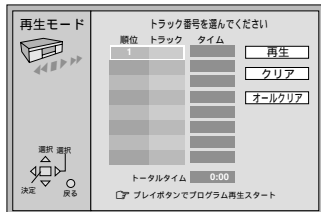
〈リモコン〉

カーソルボタン／[決定]

数字ボタン

好みの順に再生する（プログラム再生）

最大32トラックまでの好みの順に再生します。

1 停止中

[再生モード] を押してプログラム再生を選ぶ

2 数字ボタンを押してトラック番号を選ぶ

続けてトラックを選ぶときは、手順2を繰り返してください。

- **数字ボタンで10以上を選ぶには**
  例）25：[≧10]→[2]→[5]
- **カーソルでトラックを選ぶこともできます**

1 [ENTER]（決定） を押したあと、**カーソル [▲、▼]** を押してトラックを選ぶ

2 [ENTER]（決定） を押す

- **“トータルタイム”** には、予約合計時間が表示されます。

3 [▶]（再生）を押す

■予約内容を追加、変更する

1 カーソル [▲、▼] を操作してトラックを選ぶ

2 手順2を繰り返す

■プログラム画面のページを前後に移動する

[◀◀] または **[▶▶]** を押す

■予約を 1 つずつ取り消す

1 カーソル［▲、▼、◀、▶］を操作して取消すトラックを選ぶ

2［取消し］を押す

●カーソルで“**クリア**”を選び［**ENTER**］（**決定**）を押しても操作できます。

■予約を全て取り消す

カーソル［▲、▼、◀、▶］を操作して“オールクリア”を選び［ENTER］(決定）を押す

■プログラム再生を解除する

停止中にプログラム再生画面が通常再生画面になるまで［**再生モード**］を押す

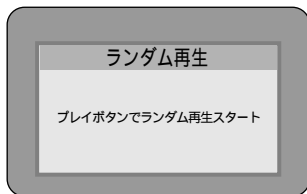
●予約は、電源を切るか、ふたを開けるまで保持されます。

順不同に再生する（ランダム再生）

1 停止中

［再生モード］を押してランダム再生を選ぶ

ランダム再生

プレイボタンでランダム再生スタート

2 ［▶］（再生）を押す

■ランダム再生を解除する

停止中にランダム再生画面が通常再生画面になるまで［**再生モード**］を押す

繰り返し再生する（リピート再生）

DVD-PV40

再生中

本体の［REPEAT］を押してリピート再生の種類を切り換える

押すたびに

DVD

→
→
(チャプター)(タイトル全体)(通常再生)

VCD※ CD

→
→
(トラック)(ディスク全体)(通常再生)

<※PBC 付ビデオ CD の場合>

メニュー再生を解除してから操作してください。

1 再生中、表示窓の“PbC”が消えるまで［■］を押す

2 リモコンの**数字ボタン**でトラックを選び再生を始める

3 本体の［REPEAT］を押す
メニュー再生に戻すには、[■］を押したあと、[MENU]（**メニュー**）を押してください。

お知らせ

●ディスクによっては働かないものもあります。

●再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは働きません。

●DVD では、ディスク全体の繰り返し再生は選べません。

●トラック／チャプターリピート時は“1⟲”が、ディスク／タイトルリピート時は“⟲”が表示窓に点灯します。

DVD-LV60 DVD-PV40

●GUI 画面でも操作できます。(☞24、28 ページ)

■好みのトラックを繰り返し再生する

1 好みのトラックをプログラムする（☞ 左記）

2 [▶]（**再生**）を押し、再生を始める

3 本体の［REPEAT］を押して“⟲T”あるいは“⟲A”を画面に表示させる

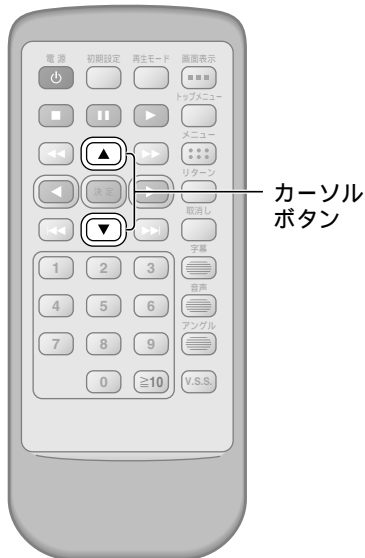
映像の設定を変える DVD-LV60

〈本体操作部〉

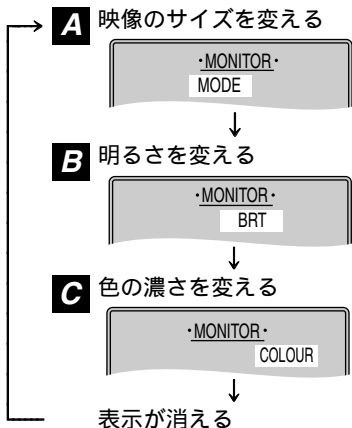
表示窓

カーソルつまみ

〈リモコン〉

カーソルボタン

再生中／停止中
［MONITOR］を押して

液晶画面の設定モードを切り換える

押すたびに表示窓の表示が切り換わります。

それぞれの表示を点灯させて 23 ページの操作を行ってください。
（調節後は表示を消しておいてください。）

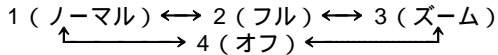
- 映像サイズは、電源を切るか、電源「入」状態で［IN/OUT］を押すと（☞37 ページ）、自動的に“１”（ノーマル）になります。
- 外部入力モード（☞37 ページ）のときに調節した場合を除き、電源を切っても明るさと色の濃さの設定は保持されています。

お知らせ

調節は、本機の液晶画面にのみ有効です。テレビなどを接続して映像をお楽しみの場合は、接続した機器側で調節してください。

A 映像のサイズ

カーソル［▲、▼］を操作して**表示モードを切り換える**

表示窓の文字が以下のように切り換わります。

1（ノーマル）⟷ **2**（フル）⟷ **3**（ズーム）
↕ **4**（オフ）

■表示モードと映像のサイズ

画面に映し出される映像は表示モードとディスク側の画面サイズによって異なります。

ディスク ＼ モード	1（ノーマル）	2（フル）	3（ズーム）	4（オフ）
ワイド※ 16:9 PS ※ 16:9 LB	フル画面	フル画面	上下が切れる	切
4：3 ※ 4:3	左右に黒帯が出る	1 の画面が左右に伸びる	2 の画面の上下が切れる	切
4：3（レターボックス）※ LB	上下左右に黒帯が出る	1 の画面が左右に伸びる	フル画面	切

※ディスクのジャケット上のマークです。

- 本機の液晶画面を使わないときは節電のため、“ 4 ”（オフ）にすることをお薦めします。
- 液晶画面を閉じると自動的に「切」になります。
- **“ 3 ”（ズーム）のときには画面に横線が出ることがありますが、異常ではありません。**

B 明るさ

カーソル［▲、▼」を操作して

明るさを調節する

－５（暗い）～５（明るい）

明るいほど電力消費量は大きくなります。

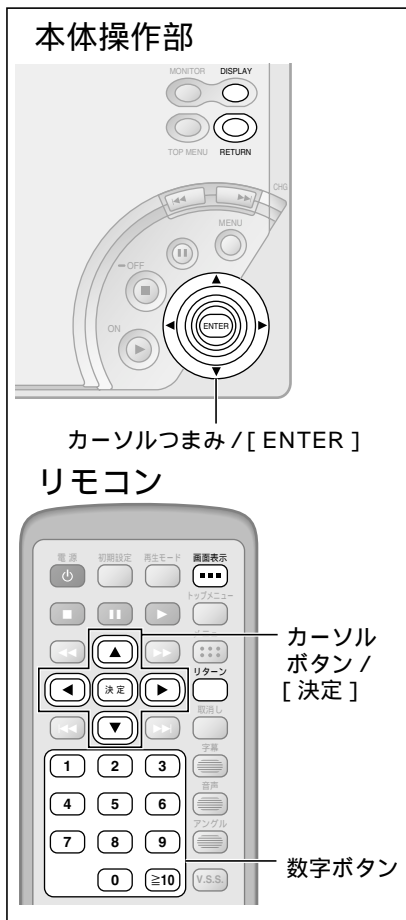
C 色の濃さ

カーソル［▲、▼」を操作して

色の濃さを調節する

－５（薄い）～５（濃い）

絵表示（GUI画面）を使って操作する

GUI(Graphical User Interface)（ジーユーアイ グラフィカル ユーザー インターフェース）
「画面を見ながら操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する画面表示を「GUI画面」と呼び、情報を確認しながら内容を変更できます。

基本操作

1 **[DISPLAY]（画面表示）を押して**
画面表示を切り換える
押すたびに切り換わります。
例） DVDの場合

2 （本機情報画面のみ）
カーソル[◀、▶]で、ハイライトを**左端のアイコンに移動**し、**カーソル[▲、▼]**で**メニューを選ぶ**
押すたびに
再生設定↔映像設定↔音声設定↔表示設定

3 **カーソル［◀、▶］で**
項目を選ぶ
内容については25～30ページをご覧ください。
シャトル画面の場合、この手順は不要です。

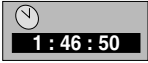
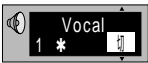
4 **カーソル［▲、▼］で**
内容を変更する
変更が実行されないときは、**[ENTER]（決定）**を押してください。
数字ボタンで変更できるものもあります。

■画面表示を消すには
[RETURN]（リターン）を押す

■GUI画面の位置を変えるには
5段階の調整ができます。
1 カーソル［◀、▶］で矢印アイコン（右記）を選ぶ
2 カーソル［▲、▼］でGUI画面の位置を変える

お知らせ

- 表示内容はディスクによって異なります。
- ディスクや再生状態（停止中など）によっては操作できないものがあります。
- 枠の“△、▽”マークはカーソル**［▲、▼］**で変更できることを示します。

シャトル画面の表示例

アイコン	内　容
▮▮	**静止／一時停止**
◀▮　▮▶	**スロー再生** ◀▮：戻る DVD ▮▶：進む DVD VCD
▶	**再生**
◀◀　▶▶	**早戻し／早送り** ◀◀：戻る　▶▶：進む

お知らせ
- 早送り／早戻し、スロー再生の速度は5段階あります。
- シャトル画面両端の数値は早戻し／早送りの最大速度を表示しています。
- ディスクによっては、操作できないものもあります。

ディスク情報画面の表示例

アイコン	内　容
2	**タイトル番号** DVD **トラック番号** VCD CD 番号を選び［ENTER］（決定）を押す
2	**チャプター番号** DVD 番号を選び［ENTER］（決定）を押す
1 : 46 : 50	**経過時間** DVD **数字ボタン**で指定した時間から再生開始 例）1 時間 46 分 50 秒から再生するとき **[1]→[4]→[6]→[5]→[0]→[ENTER]（決定）**を押す --- **時間表示** VCD CD：内容変更はできません。 再生中**カーソル［▲、▼］**を押すたびに表示を変更する →トラックの経過時間 ↕ トラックの残り時間 ↕ →ディスクの残り時間
Digital 1 日 3/2.1 ch	**音声言語** DVD (☞ 右記 ⓐ) 番号を選ぶとその音声で再生
Digital 1 日 3/2.1 ch	**音声属性** DVD (☞ 右記 ⓑ)
Vocal 1 ＊ 切	**カラオケボーカル「入」「切」**（カラオケ DVD のみ） **ソロ：** 切←→入 **デュエット：** 切←→V1 ＋ V2 ↕ ↕ V2 ←→ V1

アイコン	内　容
切 1 日	**字幕番号** DVD 番号を選ぶと、その言語で字幕を表示（☞ 下記 ⓐ）
切 1 日	**字幕「入」「切」** DVD 字幕の「入」「切」の選択
1	**アングル番号** DVD 番号を選ぶとそのアングルで再生
L R	**音声チャンネル** VCD **：** チャンネルを選ぶとその音声で再生 →LR（左右チャンネルの音声） ↕ L（左チャンネルの音声） ↕ →R（右チャンネルの音声）
PBC 入	**メニュー再生の「入」「切」状態表示** （PBC 付 VCD）：内容変更はできません。

ⓐ 音声／字幕言語

日：日本語
英：英語
仏：フランス語
独：ドイツ語
伊：イタリア語
西：スペイン語
蘭：オランダ語
中：中国語
露：ロシア語
韓：韓国語
＊：その他

ⓑ 音声属性

LPCM/DD Digital/DTS：信号タイプ
k：サンプリング周波数
b：ビット数
ch：チャンネル数

本機情報画面の表示例

再生設定

アイコン	内　容
AB	**A-B リピート再生：**指定した 2 点間を繰り返し再生 再生中［**ENTER**］**（決定）**を押すたびに A・　AB　・・ （A 点を指定）→（B 点を指定）→（通常の再生に戻る） （A-B リピート再生が始まる） ●同一トラック／タイトル内でのみ可能です。B 点を指定する前にトラック／タイトルが終わったときは、その終了点が B 点として指定されます。 ●A-B リピート時は“ A⮌B ”が表示窓に点灯します。
切	**リピート再生**（☞21 ページ） **DVD** **C（チャプター）⟷T（タイトル）** **↑── 切（通常再生）──↑** **VCD**　**CD** **T（トラック）⟷A（ディスク全体）** **↑── 切（通常再生）──↑**

アイコン	内容
---	**再生モード** VCD CD ：内容変更はできません。 ---　　：通常再生 PGM ：プログラム再生 RND ：ランダム再生
123**	**マーカー** もう一度再生したいところにマークを付ける（最大 5 カ所） **[ENTER]（決定）**を押し、マークを付けたいところでもう一度押す ●電源を切るかふたを開けるまでマーク番号は保持されています。
	他にマークを付けるには **カーソル［▶］**を押し、マークを付けたいところで**[ENTER]（決定）**を押す
	マークを呼び出すには **カーソル［◀、▶］**でマークを選び**［ENTER］（決定）**を押す
	マークを取り消すには **カーソル［◀、▶］**でマークを選び**［取り消し］**を押す

お知らせ

再生中、表示窓に経過時間が表示されないときは、A-B リピート再生（DVD のみ）、リピート再生、マーカーが働きません。

（次ページに続く）

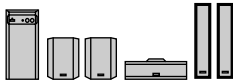
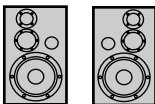
本機情報画面の表示例

映像設定

アイコン	内　容
N	**画質モード** DVD VCD **カーソル［▲、▼］**でお好みの画質モードを選ぶ **N** ：通常画質 **C** ：シネマ画質（映画に適した画質）

音声設定

アイコン	内　容
切	**V.S.S.** DVD （ドルビーデジタル 2ch 以上のディスク） （☞19 ページ） **1**←→**2**←→**切**
切	**ダイアログエンハンサー** DVD （ドルビーデジタル 3ch 以上のディスク） **入**※←→**切** ※ DVD-PV40 “ ” ランプが点灯します。

表示設定

アイコン	内　容
IPB 切	**IPB 表示** DVD 静止時に画像の種類（**I/P/B**）を表示する／しないを設定 **入**←→**切**

他の機器と組み合わせる

本機はドルビーデジタルを 2ch で楽しむことができます。ドルビーデジタルや DTS のサラウンドサウンドを楽しむにはドルビーデジタルや DTS デコーダー内蔵の機器を接続してください。（本機は DTS デコーダーを内蔵していません。）また、高音質の 96 kHz で楽しみたいときは、アナログ接続してください。デジタル接続すると、著作権保護のため 48 kHz に変換しないと音声がでません。

『　　』内は機器に合わせて内容変更が必要な初期設定のメニュー項目です。

こんなときは	こんな方法があります	設定内容 (☞40、41 ページ)
3 本以上のスピーカーでサラウンドサウンドを楽しむ	**<デジタル接続>** AV アンプ（デコーダー内蔵）またはデコーダー＋AV アンプと接続する (☞32 ページ)	『音声』 ●**PCM ダウンサンプリング変換** ⇒ “ する ” ●**Dolby Digital/DTS Digital Surround**⇒ 接続する機器に合わせて設定 **スピーカーの設定は AV アンプまたはデコーダーで行ってください。**
2 本のスピーカーでステレオサウンドを楽しむ／ドルビープロロジックを楽しむ	**<アナログ接続>** アナログアンプやミニコンポと接続する（☞33 ページ）	『音声』 ●**PCM ダウンサンプリング変換** ⇒ “ しない ”
	<デジタル接続> デジタルアンプやミニコンポと接続する (☞33 ページ)	『音声』 ●**PCM ダウンサンプリング変換** ⇒ “ する ” ●**Dolby Digital**⇒“ PCM ” **DTS Digital Surround** ⇒ “ Off ”

MD やカセットテープに録音する
(☞34 ページ)
アクティブスピーカーと接続する
(☞35 ページ)
ヘッドホンと接続する（☞35 ページ）
カー電源アダプターと接続する
(☞36 ページ)

DVD-PV40
アイトレックと接続する (☞36 ページ)
DVD-LV60
テレビチューナーユニットと接続する
(☞37 ページ)
ビデオカメラと接続する (☞37 ページ)

お知らせ

- 機器との接続は一例です。
- 接続の前に、接続する機器と本機の電源を切り、それぞれの機器の説明書もご参照ください。
- 別売品の品番については 38 ページをご参照ください。

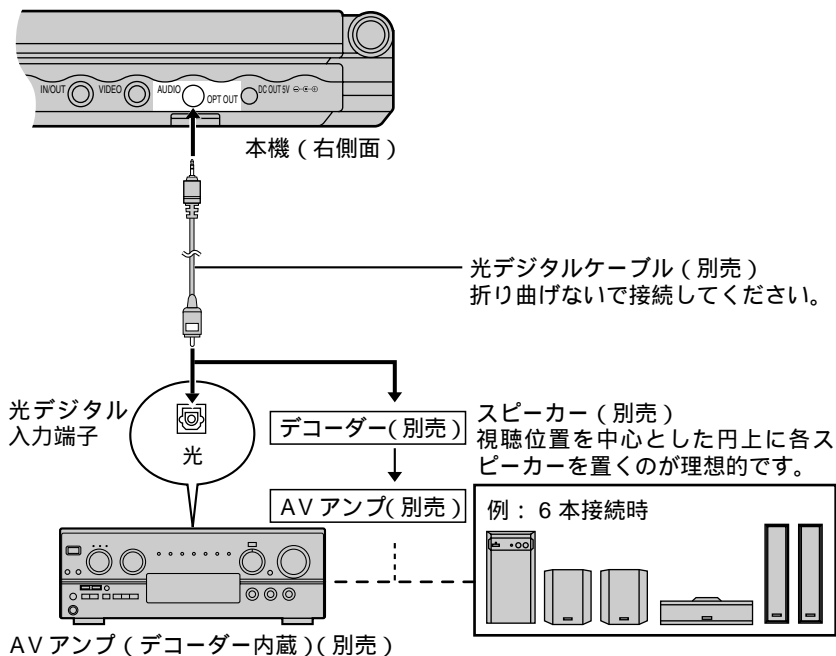
DVD-LV60

- 液晶画面を閉じると、本機のステレオスピーカーからは音声が出なくなります。

より迫力ある音声で楽しむ

3 本以上のスピーカーでサラウンドサウンドを楽しむ

<デジタル接続>

1 デコーダー内蔵の AV アンプ（デコーダー＋ AV アンプ）と接続する

2 接続したデジタル機器に合わせて設定する（☞44 ページ）

お知らせ

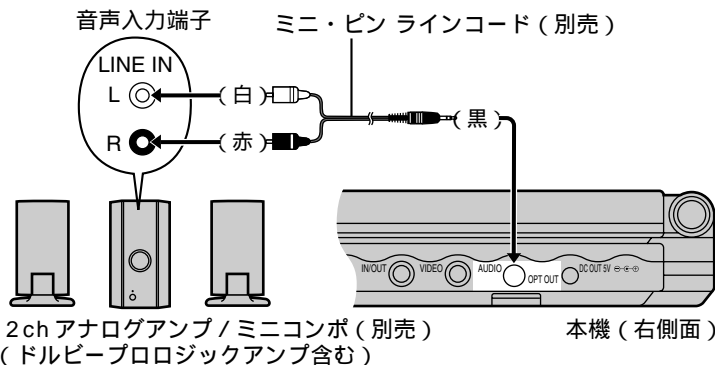
DVD に対応していない DTS デコーダーは使用できません。

2 本のスピーカーで楽しむ

<アナログ接続>

2ch アナログアンプやミニコンポと接続する

2ch アナログアンプ／ミニコンポ（別売）
（ドルビープロロジックアンプ含む）

本機（右側面）

ドルビープロロジック（☞45 ページ）**のサラウンド効果を楽しむには**
上記の接続例に加えて、センター、サラウンドのスピーカーが別途必要となります。接続した機器の説明書をご参照ください。また、この場合 V.S.S.は“ 切 ”にしてください。
“ 1 ”（標準）、“ 2 ”（強）に設定するとサラウンド効果が正しく働きません。

<デジタル接続>

1 2ch デジタルアンプやミニコンポと接続する

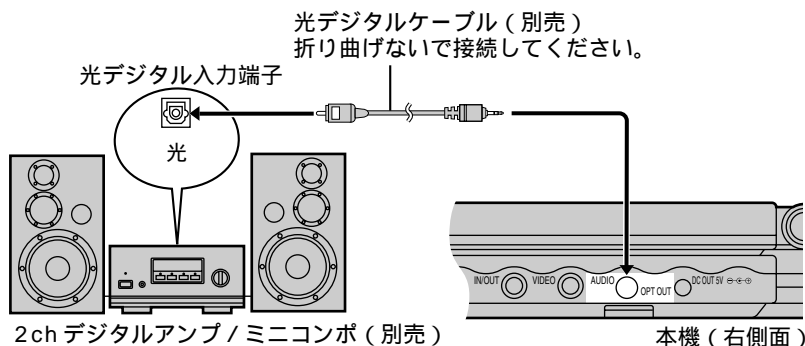
光デジタルケーブル（別売）
折り曲げないで接続してください。

光デジタル入力端子

光

IN/OUT VIDEO AUDIO OPT OUT DC OUT 5V

2ch デジタルアンプ／ミニコンポ（別売）

本機（右側面）

2 接続したデジタル機器に合わせて設定する（☞44 ページ）

その他の楽しみかた

MD やカセットテープに録音する

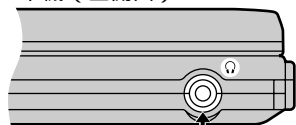
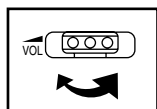
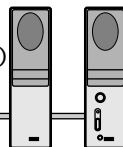
<アナログ録音>
アナログ信号に変換された音声を、著作権保護の影響を受けずにカセットテープや MD に録音できます。

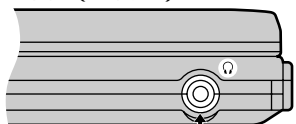
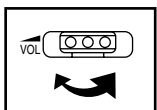
<デジタル録音>
デジタル信号のまま MD などに録音できます。
ただし全ての信号がリニア PCM 48 kHz/16 bit 以下に変換されます。
また、DVD の場合、以下の条件が必要です。
- ディスクに著作権保護の処理がされていない。
- 録音側の機器がサンプリング周波数 48 kHz ／ 16 bit に対応している。

■アナログ録音するには
直接、ミニ・ピンラインコードで録音機器と接続してください。
(☞33 ページ)

■デジタル録音するには
- 直接、光デジタルケーブルで録音機器と接続してください。
(☞32、33 ページ)
- DVD の場合、デジタル出力を以下のように設定してください。
(☞44 ページ)
“ PCM ダウンサンプリング変換 ”:“ する ”
“ Dolby Digital ”:“ PCM ”
“ DTS Digital Surround ”:“ Off ”

アクティブスピーカーシステムで楽しむ

いったん音量を下げて、接続してから音量を調節してください。

ヘッドホンで楽しむ

いったん音量を下げて、接続してから音量を調節してください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

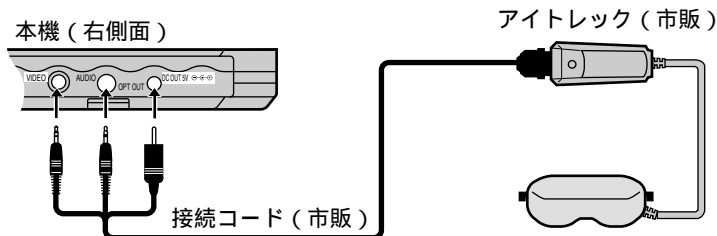
お知らせ

DVD-LV60

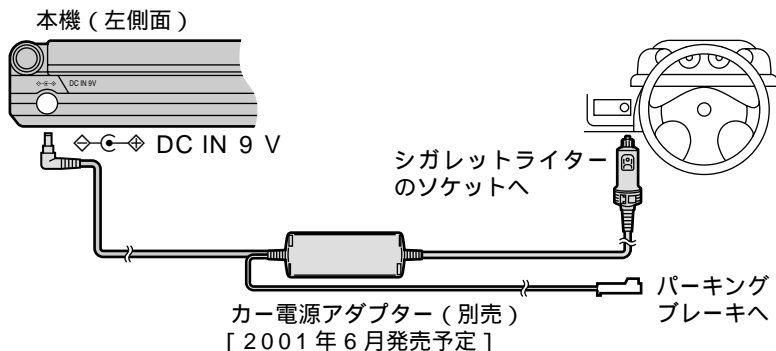
アクティブスピーカーやヘッドホンを接続したときは、本機のステレオスピーカーからは音が出ません。

その他の楽しみかた（つづき）

アイトレック※で楽しむ DVD-PV40

※アイトレックは、オリンパス光学工業株式会社の商標です。

お知らせ

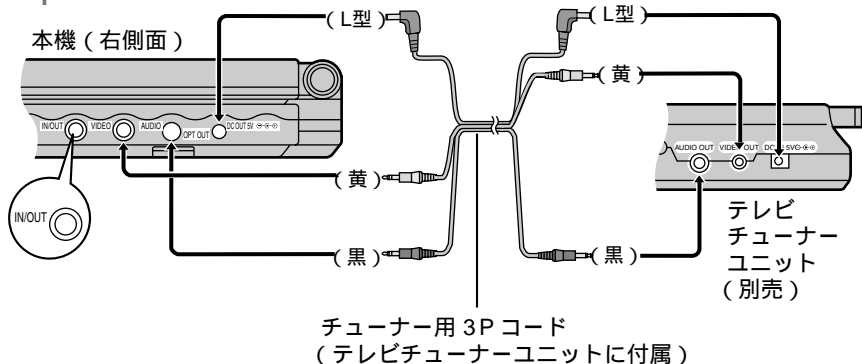
- アイトレックは、品番 FMD-250W のものをお使いください。
- 接続コードは、アイトレックの説明書に記載のものをお使いください。
- FMD-250W に付属の AC アダプターはご使用にならないでください。

カー電源アダプター（別売）で車内で楽しむ 品番：DY-DC95

お知らせ

- 安全のため、車の運転中は本機を操作したり、画面を見たりしないでください。
- 機器が熱くなり低温やけどの原因となりますので、ひざの上などで長時間使用しないでください。安定した場所に置いてお楽しみください。
- カーステレオカセットアダプター（☞38 ページ）を、本機の［🎧］ヘッドホン端子に接続して楽しむこともできます。

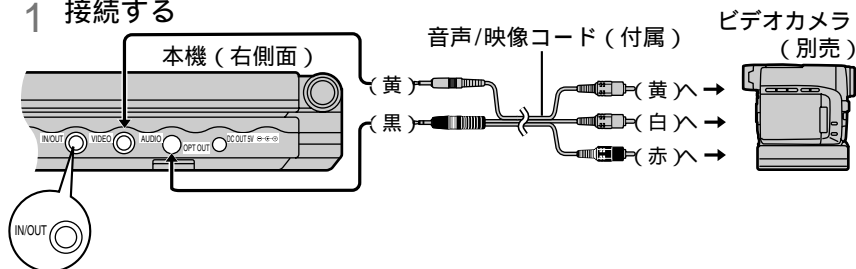
液晶画面でもっと楽しむ DVD-LV60

テレビチューナー（別売）でテレビ放送を楽しむ　品番：DY-DT50

1 接続する

2 ［IN/OUT］を押して**外部入力モードに切り換える**

表示窓の“ ◀ ”LINE-IN 表示が点灯します。

ビデオカメラで撮った映像を楽しむ

1 接続する

2 ［IN/OUT］を押して**外部入力モードに切り換える**

表示窓の“ ◀ ”LINE-IN 表示が点灯します。

お知らせ

- 電源を切ると外部入力モードは解除されます。続けてテレビ放送やビデオの映像を楽しむときは、必ずもう一度［IN/OUT］を押して表示窓の“ ◀ ”LINE-IN 表示を点灯させてください。
- 外部入力モードのときにはオートパワーオフ（☞13 ページ）は働きません。続けて再生しないときは必ず電源を切っておいてください。

別売品のご紹介

別売品の品番は、2001年3月現在のものです。品番は変更されることがあります。

S映像コード	RP-CVS0G10（1.0 m）
	RP-CVS0G20（2.0 m）
	RP-CVS0G30（3.0 m）
	RP-CVS0G50（5.0 m）
S端子ミニコード	RP-CVSM0G15（1.5 m）
	RP-CVSM3G15（1.5 m）
光デジタルケーブル	RP-CA2105A（0.5 m）
	RP-CA2110A（1.0 m）
	RP-CA2120A（2.0 m）
ミニ・ピン ラインコード	RP-CAPM3G15（1.5 m）
ステレオヘッドホン	RP-HC100
	RP-HT870
	RP-HS70
ステレオインサイドホン	RP-HV570

AVアンプ（AVコントロールアンプ）	SU-DA10※
フロントスピーカー（L／R、左右1組）	SB-LV500
センタースピーカー	SB-C500
サラウンドスピーカー（L／R、左右1組）	SB-S500
アクティブサブウーハー	SB-AS30
アクティブスピーカーシステム	RP-SP90
アンプスピーカーシステム	SC-HDX2
テレビチューナーユニット	DY-DT50
バッテリーパック	DY-DB60
カー電源アダプター（2001年6月発売予定）	DY-DC95
カーステレオカセットアダプター	SH-CDM10A

※ 5.1ch音声入力端子とドルビーデジタル／DTSデコーダーを装備しています。

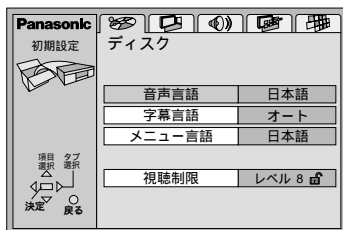
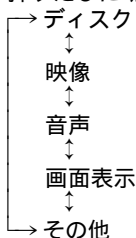
初期設定を変更する

- 40 ～ 41 ページの一覧表をご覧になり、必要であれば右の操作で変更してください。
- 電源を切っても次に変更するまで保持されます。

〈リモコン〉

カーソル
ボタン／
[決定]

設定方法

1 [初期設定]を押して
初期設定画面を表示する

2 カーソル［◀、▶］を操作して
設定したいタブを選ぶ
押すたびに切り換わります。

3 カーソル［▲、▼］を操作して
設定項目を選び、[ENTER]（決定）を押す
設定内容画面が表示されます。

4 カーソル［▲、▼］を操作して
設定内容を選び、[ENTER]（決定）を押す
初期設定画面に戻ります。

■ひとつ前の画面に戻るには
［RETURN］（リターン）を押す

■設定を終了するときは
［初期設定］を押す

初期設定を変更する（つづき）

初期設定一覧表

設定方法については、39 ページをご覧ください。日本語 のようにアミのかかった項目は、工場出荷時の設定です。

メニュー項目	設定項目	設定内容	参照ページ
ディスク DVD	**音声言語** 言語（音声）が選べます。	●日本語　●英語 ●オリジナル※1 ●その他＊＊＊＊※2	42
	字幕言語 言語（字幕）が選べます。	●オート※3　●日本語 ●英語 ●その他＊＊＊＊※2	42
	メニュー言語 メニューなど、画面に表示される言語が選べます。	●日本語　●英語 ●その他＊＊＊＊※2	42
	視聴制限 DVD の視聴が制限できます。	●レベル 8 ：すべてのディスクが再生可 ●レベル 7 ～ 1 ： 制限レベルの記録されているディスク（成人向けや暴力シーンを含むもの）が再生不可 ●レベル 0 ：すべてのディスクが再生不可 - - - - - - ●ロック解除 ●暗証番号変更 ●レベル変更 ●一時解除	43
映像 DVD VCD	**TV アスペクト** お使いのテレビサイズに合った画面表示方法が選べます。	●4：3 パン＆スキャン （DVD-PV40 出荷時） ●4 ： 3 レターボックス ●16 ： 9 （DVD-LV60 出荷時）	11
	スチルモード 静止画像の表示方法が選べます。	●オート　●フィールド ●フレーム	42,45
音声	**PCM ダウンサンプリング変換** DVD 96 kHz のリニア PCM で記録された音声信号を 48 kHz ／ 16 bit に変換する／しないが選べます。	●しない　●する	44

メニュー項目	設定項目	設定内容	参照ページ
音声	**Dolby Digital** DVD 接続に応じて、ドルビーデジタルの信号をそのままの状態（Bitstream）で出力するか、デコーダーを通さなくても聞ける状態（PCM 2ch）に処理して出力するかが選べます。	●Bitstream ●PCM	44
	DTS Digital Surround DVD 接続に応じて、DTS の信号を出力する／しないが選べます。	●Off　●Bitstream	44
	音声のダイナミックレンジ圧縮 DVD （ドルビーデジタルのみ） 小音量でもセリフを聞き取りやすくします。	●切　●入	—
	早送り時の音声 DVD VCD 早送りする時、音声が聞こえるようにするか、しないかが選べます。	●あり　●なし	—
画面表示	**画面メニュー言語** 初期設定画面の言語や、操作時に画面に表示される言語が選べます。	●日本語 ●English（英語）	—
	画面メッセージ 操作時の表示を画面に表示する、しないが選べます。	●入　●切	—
その他	**デモモード** “する”を選ぶと、画面上でデモンストレーション表示が始まります。	●しない　●する デモは、リモコン／本体のどのボタンを押しても停止します。	—

（次ページに続く）

初期設定を変更する（つづき）

■ディスクメニューについて

※1 “ **オリジナル** ”：
ディスクの最優先言語が選ばれます。

※2 “ **その他＊＊＊＊** ”：
数字ボタンで言語番号を入力します。
（☞ 下記）

※3 “ **オート** ”：
“ 音声言語 ” で選んだ言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

選んだ言語がディスクに記録されていない場合や、言語があらかじめディスク内で決められている場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。

■スチルモードについて

フィールド：粗めの静止画像が表示されます。“ オート ” 設定時にブレが生じるときに選びます。

フレーム　：画質のよい静止画像が表示されます。“ オート ” 設定時に小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

言語番号一覧表

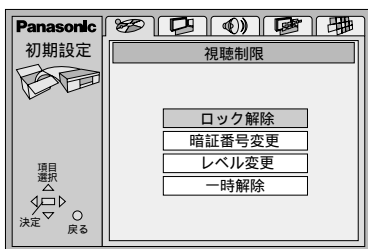
7383：アイスランド	7578：カンナダ	8484：タタール	7089：フリジア
6588：アイマラ	7577：カンボジア	8465：タミル	6890：ブータン
7165：アイルランド	7589：キルギス	8476：タガログ	6671：ブルガリア
6590：アゼルバイジャン	6976：ギリシャ	8471：タジク	6682：ブルターニュ
6583：アッサム	7585：クルド	6783：チェコ	7387：ヘブライ
6565：アファル	7282：クロアチア	9072：中国語	8673：ベトナム
6570：アフリカーンス	7178：グアラニー	6679：チベット	6669：ベロルシア
6566：アブハジア	7185：グジャラト	8473：ティグリニア	（白ロシア）
6577：アムハラ	7576：グリーンランド	8469：テルグ	6678：ベンガル
6582：アラビア	7565：グルジア	6865：デンマーク	（バングラ）
8381：アルバニア	8185：ケチュア	8487：トウイ	7065：ペルシャ
7289：アルメニア	8185：（スコットランド）	8475：トルクメン	8076：ポーランド
7384：イタリア	ゲール	8482：トルコ	8084：ポルトガル
7473：イディッシュ	8872：コーサ	8479：トンガ	7773：マオリ
7365：インターリングア	6779：コルシカ	6869：ドイツ	7775：マケドニア
7378：インドネシア	8377：サモア	7865：ナウル	7783：マライ（マレー）
6789：ウェールズ	8365：サンスクリット	7465：日本語	7782：マラッタ
8779：ウォロフ	8378：ショナ	7869：ネパール	7776：マラヤーラム
8679：ヴォラピュック	8368：シンド	7879：ノルウェー	7784：マルタ
8575：ウクライナ	8373：シンハラ	7265：ハウサ	7771：マダガスカル
8590；ウズベク	7487：ジャワ	7285：ハンガリー	7779：モルダビア
8582：ウルドゥー	8386：スウェーデン	6985：バスク	7778：モンゴル
6978：英語	8375：スロバキア	6665：バシキール	8979：ヨルバ
6984：エストニア	8376：スロベニア	8083：パシュト	7679：ラオ
6979：エスペラント	8387：スワヒリ	8065：パンジャブ	7665：ラテン
7982：オーリヤ	8385：スンダ	7273：ヒンディー	7686：ラトビア
7876：オランダ	6983：スペイン	6672：ビハール	（レット）
7575：カザフ	9085：ズールー	7789：ビルマ	7684：リトアニア
7583：カシミール	8382：セルビア	7073：フィンランド	7678：リンガラ
6765：カタロニア	8372：セルボクロアチア	7074：フィジー	8279：ルーマニア
7176：ガリチア	8379：ソマリ	7079：フェロー	8277：レトロマンス
7579：韓国（朝鮮）語	8472：タイ	7082：フランス	8285：ロシア

視聴制限

初期設定一覧表（☞40～41ページ）と設定方法（☞39ページ）をご参照ください。
お子様などに見せたくない成人向けのDVDがそのまま再生されないようにできます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

●レベル7以下を選んだときは**数字ボタン**で暗証番号（4ケタ）を入力し、**[ENTER]（決定）**を押し、もう一度**[ENTER]（決定）**を押してください。（ロックがかかります。）
間違った数字を入力してしまったときは、**[ENTER]（決定）**を押さない限り**[取消し]**を押すと取り消せます。

●制限レベルが記録されていないディスクを制限したいときは“0 すべて不可”を選んでください。

●ロックすると正しい暗証番号を入力しない限り、設定内容を変更できません。
暗証番号は忘れないでください。

■制限内容を変更するには（レベル7～0のとき）

まず**数字ボタン**で暗証番号（4ケタ）を入力し、**[ENTER]（決定）**を押してください。

ロック解除　：制限を解除してレベル8に戻す
暗証番号変更：暗証番号を変更する
レベル変更　：制限レベルを変更する
一時解除　　：一時的に制限を解除する

●“一時解除”を選ぶと、電源を切るかふたを開けるまでレベル8の状態が続きます。

操作によって異なる画面が出ることがありますが、そのときは画面の指示に従ってください。

デジタル出力の設定

初期設定一覧表（☞40 ～ 41 ページ）と設定方法（☞39 ページ）をご参照ください。

＜PCM ダウンサンプリング変換＞

- **しない**（出荷時の設定）：ミニ・ピン ラインコードでアナログ接続するとき
- **する**：光デジタルケーブルでデジタル接続するとき
  著作権保護のため、出力は 48 kHz ／ 16 bit 以下に制限されます。

～ 96 kHz で記録された DVD を再生するときは～

接続方法（☞32、33 ページ）と PCM ダウンサンプリング変換の設定により、以下のような音声が出力されます。

接続例／設定	アナログ接続	デジタル接続
しない	96 kHz で出力	出力しない （著作権保護の処理がされていないディスクの場合は 96 kHz で出力※）
する	48 kHz に変換され出力	48 kHz ／ 16 bit に変換され出力

※ただし 96 kHz の高音質でディスクを楽しむには、接続先の機器がサンプリング周波数 96 kHz に対応していることが必要です。

＜ Dolby Digital ＞

- **Bitstream**（出荷時の設定）：ドルビーデジタルデコーダー内蔵の機器と接続するとき
- **PCM**：ドルビーデジタルデコーダーを内蔵しない機器と接続するとき

＜ DTS Digital Surround ＞

- **Off**（出荷時の設定）：DTS デコーダー内蔵しない機器と接続するとき
- **Bitstream**：DTS デコーダーを内蔵する機器と接続するとき

お願い

デコーダーを内蔵しない機器に接続する場合、必ず“ Dolby Digital ”を“ PCM ”に、“ DTS Digital Surround ”を“ Off ”に設定してください。
正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあるほか、MD などに正しく録音できません。

用語解説

トラック

ビデオ CD ／ CD のディスクを分ける、いくつかの小さな区切りのことです。

タイトル／チャプター

DVD のディスクを分ける、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）のことです。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオ CD の再生方式のひとつで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい画面や情報を選ぶことができます。本書ではメニュー画面を使って再生することを、ビデオ CD の「メニュー再生」と呼びます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。ステレオ（2ch）はもちろん、5.1ch のサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

DTS
（Digital Theater Systems）（デジタル シアター システム）

世界中の多くの映画館で採用されている 5.1ch のサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

リニア PCM（LPCM）

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。DVD は容量が大きいため、CD 以上の精度でデータを収録することができます。

Bitstream（ビットストリーム）

圧縮され、デジタルに置き換えられた音声信号です。デコーダーによって、5.1ch などのマルチチャンネル音声にデコード（復号）されます。

ドルビープロロジック

4 チャンネル信号を 2 チャンネルに記録し、再び 4 チャンネルの独立した信号に戻して再生するサラウンドシステムです。サラウンド信号はモノラルで、7 kHz まで再生されます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズにうもれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

フレーム／フィールド

フレームとは、テレビの 1 枚の画面のことです。1 フレームはフィールドと呼ばれる 2 枚の画面からなっています。

- フレームスチルのときは、2 枚のフィールドの間でブレを生じることがありますが、画質は良くなります。
- フィールドスチルのときは、情報量が少ないため画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

I ／ P ／ B

DVD では、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは各画面ごとに記録しています。

I-picture ：共用データの基準として単独で記録されるフレーム

P-picture ：過去の I-picture、または P-picture を元につくられるフレーム

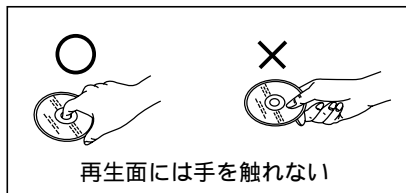
B-picture ：I ／ P 両方を元につくられ、両者の間をうめるフレーム

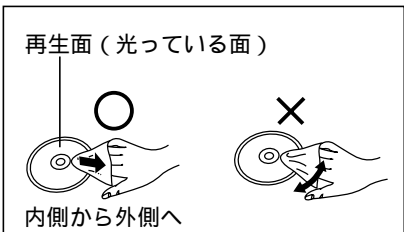
画質がもっとも良いのは I-picture です。画質調整をするときは、I-picture で静止することをお薦めします。

使用上のお願い・お手入れ

ディスクについて

■持ち方

再生面には手を触れない

■汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとは空ぶきしてください。
推奨品：クリーニングクロス
（品番：**VUA7091**）
（サービスルート扱い）

■露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■取扱上のお願い

ディスクそのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- シールやラベルがはがれかけたり、のりがはみ出しているディスクは使わない
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使わない

ディスクの保管

次のような場所には置かないでください。
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 直射日光や暖房器具の熱が直接当たる場所

故障防止のために

以下のことは避けてください。
- 強い衝撃、落下や雨にぬらす
- 揮発性の殺虫剤などをかける
- 液晶画面を強い力で押す
- ふた内部のレンズなど光ピックアップ部に触れる

以下のような場所で使用しないでください。
- 風呂場など湿気の多いところ
- 倉庫などほこりが多いところ
- 浜辺など砂の多いところ
- アンプなど高温になる機器の上や、座布団やソファーの上

お手入れ

本機が汚れたら
柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後は空ぶきしてください。
- 液晶部のひどい汚れには、メガネクリーナーをお薦めします。 DVD-LV60
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

良い音でお楽しみいただくために
定期的にお手入れすることをお薦めします。
推奨品：レンズクリーナーキット
（品番：**SZZP1038C**）
（サービスルート扱い）

お知らせ

CD タイプのレンズクリーナーはご使用になれません。

主な仕様

電源	DC 9 V（DC IN 端子）／ DC 7.2 V（専用バッテリー端子）
消費電力	DVD-LV60 11 W（本体 8 W） DVD-PV40 5 W（本体 3.5 W） （本体またはリモコンで電源「切」時：約 0.8 W） （付属の専用 AC アダプター使用時）
AC アダプター	電源： 100 － 240 V、50 ／ 60 Hz 消費電力： 42 ～ 53 VA DC 出力： 9 V、2 A

外形寸法	DVD-LV60 幅 159 ×奥行 140 ×高さ 27 ㎜ （液晶収納時、突起物を含まず） DVD-PV40 幅 159 ×奥行 140 ×高さ 16.2 ㎜ （突起物を含まず）
質量	DVD-LV60 約 510 g DVD-PV40 約 258 g
許容周囲温度	＋ 5 ～ 35 ℃
許容相対湿度	10 ～ 80 % RH （結露なきこと）
信号方式	NTSC
対応ディスク	(1) DVD-VIDEO ディスク 8 ㎝／ 12 ㎝ディスク (2) コンパクトディスク (CD-DA,VIDEO CD) 8 ㎝／ 12 ㎝ディスク (3) CD-R ディスク (4) CD-RW ディスク
DVD-LV60 **液晶画面**	5.8 型 α － Si TFT ワイド液晶モニター
S 映像出力	Y 出力レベル： 1 Vp-p（75 Ω） C 出力レベル： 0.286 Vp-p（75 Ω）
	出力端子： （映像出力／※入力端子と兼用）
映像出力／※入力	出力／※入力レベル： 1 Vp-p（75 Ω）
	出力／※入力端子： ミニジャック （1 系統　※出入力切換式）

音声出力／※入力	出力／※入力レベル： 1.5 Vrms（1 kHz、0 dB）
	出力／※入力端子： 2ch（ミックス）出力（L/R） ステレオミニジャック （1 系統　※出入力切換式）
音声出力特性	（1）周波数特性 ● DVD（リニア音声） 4 Hz ～ 22 kHz （48 kHz サンプリング） 4 Hz ～ 44 kHz （96 kHz サンプリング） ● CD 4 Hz ～ 20 kHz （2）S ／ N 比 ● CD　　115 dB （3）ダイナミックレンジ ● CD　　97 dB
デジタル音声出力	出力端子（光デジタル出力）： ミニ光コネクター （音声出力／※入力端子と兼用）
電源出力端子	DVD-LV60 専用テレビチューナーユニット用（DC 5 V） DVD-PV40 アイトレック用（DC 5 V） （品番：FMD-250W 専用）

※ DVD-PV40 には音声／映像入力はありません。

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

Q & A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
使い方	**5.1ch サラウンド音声を楽しむには、どのような機器が必要か**	デコーダー内蔵の AV アンプ（5.1ch 音声入力端子付）と 6 本のスピーカーを用意すれば、5.1ch サラウンド音声がお楽しみになれます。	32
使い方	**海外でも使えるか**	地域に合わせた変換プラグをご用意いただくと、海外旅行にもお持ちいただけます。 ただし本製品は日本国内向けに設計されているため、海外で常時使用はしないでください。また、本機の映像方式は NTSC ですので、PAL 方式のテレビとつなぐことはできません。 保証は国内のみ有効です。	8
使い方	**海外で買った DVD を再生できるか**	リージョン番号が**「ALL」**もしくは**「2」**を含んでいて、映像方式が NTSC であれば、再生できます。ディスクのジャケットをご確認ください。	7
使い方	**機内で使えるか**	本機が出す電磁波により、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。航空会社の指示に従ってください。	—
使い方	**車内で使えるか**	別売りのカー電源アダプター（品番：**DY-DC95**）をお使いいただくと車のシガレットライターソケットから電源をとって使用することができます。故障の原因となりますので、この品番以外のものは使用しないでください。また、カー電源アダプターの説明書もよくお読みください。	36
使い方	**病院で使えるか**	本機が出す電磁波により、医療機器に影響を与えるおそれがあります。病院の指示に従ってください。	—
使い方	**品番：DY-DB50, DY-DB75 のバッテリーパックは使えるか**	ご使用いただけません。本機専用のバッテリーパック（品番：**DY-DB60**）をお使いください。	8
接続	**パソコンと接続できるか**	AV 入力端子付のパソコンと接続すると、テレビのようにパソコンのモニターでディスクの再生をお楽しみいただけます。ただし、パソコンの周辺機器としてはお使いいただけません。	—

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
電源について	電源が入らない	電源に正しく接続されていますか？	8
		ホールド状態になっていませんか？	12
		バッテリーの残量を確認してください。	9
		バッテリーパック単独で使用している時は、リモコンで電源を入れることができません。	13
	勝手に電源が切れる	停止状態で放置するとACアダプター使用時は約15分で、バッテリーパック使用時は約5分で電源が切れます。(**オートパワーオフ**)電源を入れ直してください。	13
		高温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。本機の動作範囲内（5～35 ℃）の場所でご使用ください。	—
バッテリーパックについて	充電できない（[CHG] ランプが点灯しない）	電源が入っていると充電できません。	8
		温かくなっているバッテリーパックは、通常よりも充電時間が長くかかったり、充電できない場合があります。バッテリーパックが冷えてから充電してください。	—
		接続を確認してください。	8
	バッテリーパックで使用できない	高／低温下では保護回路が働き、使用できない場合があります。常温下で使用してください。	—
操作について	各ボタン操作ができない	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	7、13
		ホールド状態になっていませんか？	12
		落雷や静電気などの影響により、本機が正常に動作しないことがあります。本機の電源を一度「切」「入」してみてください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	—

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
操作について	**[▶]（再生）を押しても、再生が始まらない（またはすぐに停止する）**	寒い所から急に暖かい所へ持ち込むと露つきが発生する場合があります。1～2時間放置してください。	—
		DVD／ビデオCD／CD以外のディスクは再生できません。	7
		ディスクが汚れていませんか？	46
		ディスクを正しくセットしてください。	13
	リモコンで操作できない	電池の⊕⊖を確かめて正しく入れてください。	9
		電池が消耗している場合は、新しいものに交換してください。	9
		リモコン受信部に正しく向けて操作してください。	9
	DVDカラオケ再生中に、ボーカルが出ない	光デジタルケーブルを使って他の機器と接続しているときは、初期設定"音声"の"Dolby Digital"を"PCM"に設定してください。	44
	カラオケソフトの再生中、1曲終わるたびにメニュー画面に戻る	カラオケソフトの大半は、選んだ曲が終わるたびにメニュー画面に戻るように制作されています。メニュー画面に「全曲再生」という項目がある場合は、その項目を選ぶと全曲が再生されます。	—
	音声／字幕言語が切り換えられない	一つしか言語が記録されていないディスクでは切り換えできません。	—
		音声／字幕切り換え操作では切り換えできないが、メニュー画面等で切り換えできるディスクもあります。	18
	字幕が出ない	字幕の入っていないディスクでは字幕が表示されません。	—
		字幕が"切"になっていませんか？	18
		A-Bリピート再生のA点、B点や、マーカーでマークを付けた箇所の前後では、字幕が表示されないことがあります。	—
	アングルを切り換えられない	複数のアングルが記録されていないディスクでは、切り換えることができません。また、複数のアングルが特定の場面のみ記録されているディスクもあります。	—

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
操作について	視聴制限で設定した暗証番号を忘れた すべての設定を工場出荷時に戻したい	以下の操作で、すべての設定を工場出荷時に戻してください。停止状態で、本体の［❚❚］と［⏮］を押しながら、［▶、ON］を 3 秒以上押し続ける。 （画面の“ オールクリア ” が消えたことを確認し、電源を一度切ってください。）	—
音声について	雑音が聞こえる	本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機から携帯電話を離してください。	—
	音声がひずむ	ディスクによって音声がひずむことがあります。その場合は、V.S.S.を“ 切 ”にしてください。	19
	DVD-LV60 本機のスピーカーから音が出ない	液晶画面を閉じていませんか？	—
		［◢ VOL］（音量）ダイヤルが“ 0 ”（無音）になっていませんか？	13
		アクティブスピーカーやヘッドホンをつないでいませんか？	35
	外部スピーカーから音が出ない	接続、設定を確認してください。	10、32-37、44
		接続した機器の入力切換は正しいですか？	—
	音声の一部が聞こえない	アナログ接続で 3 本以上のスピーカーをつないでいるときは、V.S.S.を“ 切 ”にしてください。	19
映像について	DVD-LV60 液晶画面が暗い	明るさを調整してください。	23
	DVD-LV60 液晶画面の一部の画素が欠けたり常時点灯する	カラー液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99 %以上が有効画素であるものを採用しておりますが、0.01 %以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではありません。	—
	DVD-LV60 液晶画面に映像が映らない（外部機器から取り込んだ映像を含む）	接続を確認してください。	37
		外部入力切換は正しいですか？ 表示窓の“ ◀ ” LINE-IN 表示の点灯状態を確認してください。 ●ディスクを再生する場合：消灯 ●外部機器から取り込んだ映像を映す場合：点灯	37
		表示モードが“ 4 ”（オフ）になっていませんか？	23
		接続先の機器の電源は入っていますか？	—

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
映像について	テレビに映像が映らない（または画面サイズがおかしい）	接続を確認してください。	10
		テレビの電源は入っていますか？	—
		テレビの入力切換は正しいですか？	—
		初期設定“映像”の“TVアスペクト”は、正しく設定されていますか？	11
	早送り／早戻しをしたら、画像が乱れる	多少乱れが出ることがありますが、故障ではありません。	—
表示について	画面メッセージが出ない	初期設定“画面表示”の“画面メッセージ”を“入”にしてください。	41
	GUI画面が欠ける（または表示されない）	GUI画面表示中、**カーソル［◀、▶］**を操作して右側の矢印アイコンを選び、**カーソル［▲、▼］**を操作して変更してください。	25
	表示窓に“bt Err□”と表示する（□は数字）	“**bt Err1**”：バッテリーパックに異常が発生しました。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。	—
		“**bt Err2**”：12時間充電し続けましたが、何らかの理由で完全充電されていません。再度充電してください。	—
		“**bt Err3**”：充電中にバッテリーパックが異常加熱しています。冷えてから、再度充電してください。	—
	表示窓に“no PLAY”と表示する	再生できないディスクが入っています。	7
	表示窓に“U11”と表示する	ディスクがよごれています。	46
	表示窓に“H□□”と表示する（□□は数字）	異常が発生しました。（“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります。）電源を一度、「切」「入」してください。または、電源を切ってACアダプターを抜き、もう一度差し込んでください。	—

■処置をされても“U11”、“H□□”と表示するときは

お買い上げの販売店または、お近くの「修理ご相談窓口」（☞56～59ページ）に修理をご依頼ください。その場合、画面に表示される番号をお知らせください。（例“H01”）

	こんなときは	ここを確認／処置してください	参照ページ
ランプの点滅について	操作ボタンを押すと［⏻］ランプが点滅する	ホールド状態になっていませんか？解除にしてください。	12
		表示窓に“ ◀ ”LINE-IN 表示（DVD-LV60）が点灯していませんか？［IN/OUT］を押して消灯させてください。	37
	DVD-LV60 ［⏻］ランプがゆっくり点滅する	電源が入った状態で、液晶画面が閉まっているか表示モードが“ 4 ”（オフ）になっています。再生しないときは電源を切ってください。	—
	［CHG］ランプが点滅する	バッテリーパックに異常が発生しました。表示窓の表示をご確認ください。（☞ 左記）	—
	［CHG］ランプがゆっくり点滅する	電池残量が少なくなっています。（数分～ 10 分前後すると、電源が切れます。）	—

お知らせ

以下の現象が起こることがありますが、異常ではありません。
- 充電中に、AC アダプターの内部で音がする。
- 充電後やバッテリーパックで使用中に、バッテリーパックが多少熱くなる。

著作権について

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

Dolby、ドルビー、Pro Logic 及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

「DTS」および「DTS デジタルアウト」は DTS 社の商標です。

「DTS」および「DTS デジタルサラウンド」は DTS 社の登録商標です。

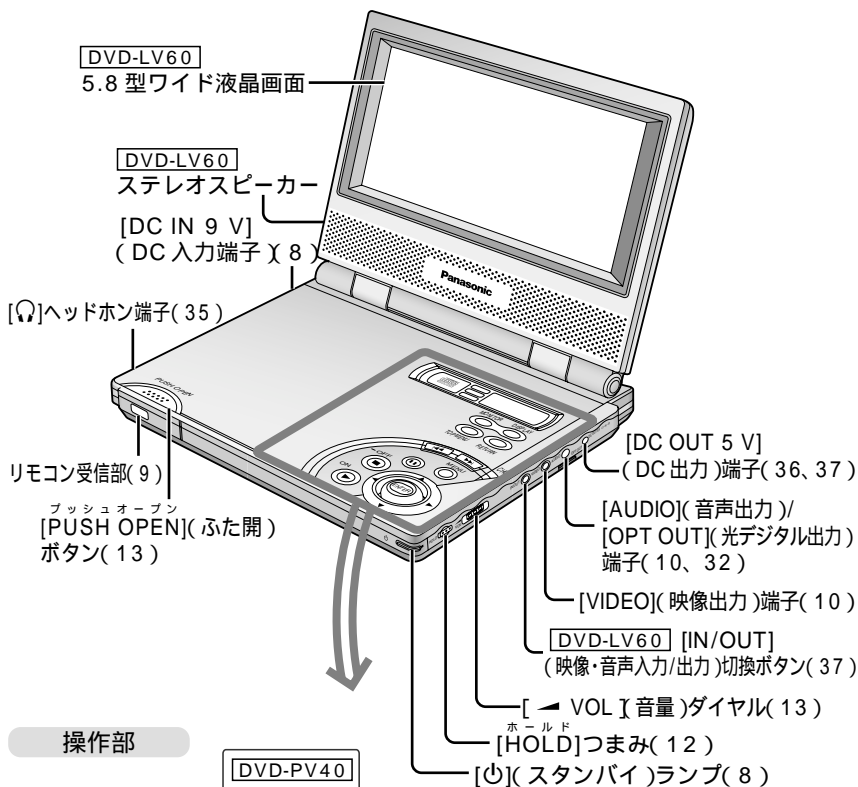
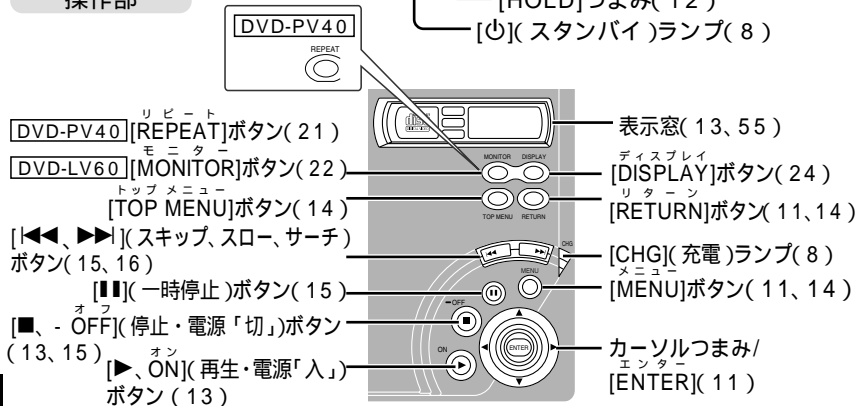
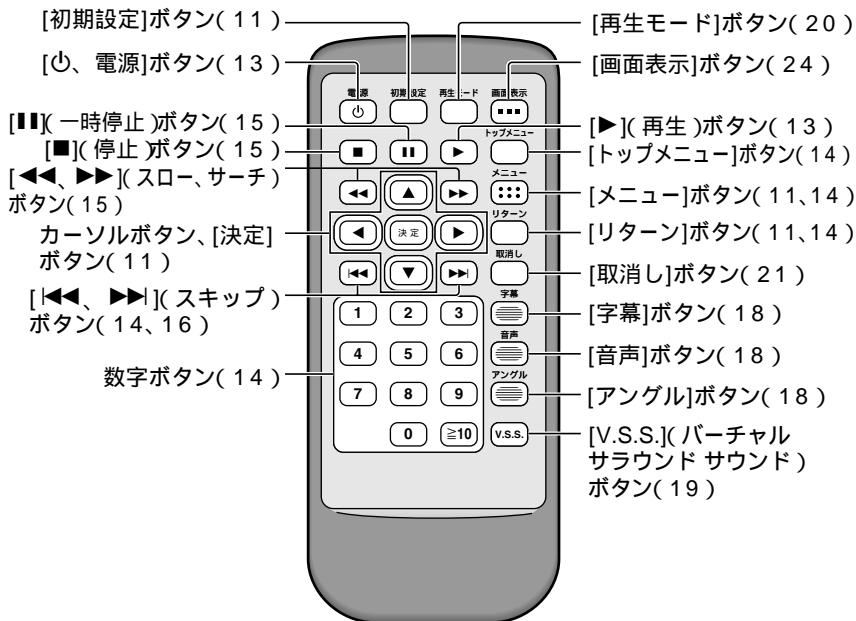
各部の名前

本体

このイラストはDVD-LV60です。

リモコン

[初期設定]ボタン（11）
[⏻、電源]ボタン（13）
[❚❚]（一時停止）ボタン（15）
[■]（停止）ボタン（15）
[◀◀、▶▶]（スロー、サーチ）ボタン（15）
カーソルボタン、[決定]ボタン（11）
[|◀◀、▶▶|]（スキップ）ボタン（14、16）
数字ボタン（14）
[再生モード]ボタン（20）
[画面表示]ボタン（24）
[▶]（再生）ボタン（13）
[トップメニュー]ボタン（14）
[メニュー]ボタン（11、14）
[リターン]ボタン（11、14）
[取消し]ボタン（21）
[字幕]ボタン（18）
[音声]ボタン（18）
[アングル]ボタン（18）
[V.S.S.]（バーチャル サラウンド サウンド）ボタン（19）

表示窓

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、ポータブルDVD／ビデオCD／CDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

49～53ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターの電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	ポータブルDVD／ビデオCD／CDプレーヤー	お買い上げ日	年　月　日
品番		故障の状況	できるだけ具体的に

お取り扱い・お手入れなどのご相談

ナショナル／パナソニック　お客様ご相談センター

電 話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）

FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays /Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

北海道地区

札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251	**帯広**	帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477	**函館**	函館市西桔梗589番地241 (函館流通卸センター内) ☎ (0138)48-6631
旭川	旭川市2条通21丁目左1号 ☎ (0166)31-6151				

東北地区

青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37 ☎ (017)739-9712	**岩手**	盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120	**山形**	山形市流通センター3丁目12-2 ☎ (023)641-8100
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2 ☎ (018)826-1600	**宮城**	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117	**福島**	福島県安達郡本宮町字南/内65 ☎ (0243)34-1301

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2555
群馬 高崎市大沢町229-1 ☎ (027)352-1109
水戸 水戸市柳河町309-2 ☎ (029)225-0249
つくば つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (0298)64-8756
埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960
千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034
東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780
山梨 甲府市下飯田2丁目1-27 ☎ (055)222-5171
神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎ (045)847-9720
新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-7725

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683
富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705
福井 福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606
長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)58-0073
静岡 静岡市西島765 ☎ (054)287-9000
名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225
岡崎 岡崎市岡町南久保28 ☎ (0564)55-5719
岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010
高山 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380

近畿地区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎ (077)582-5021
京都 京都市南区上鳥羽石橋町20-1 ☎ (075)672-9636
大阪 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225
奈良 大和郡山市椎木町404-2 ☎ (0743)59-2770
和歌山 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
兵庫 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

中国地区

地域	所在地・電話	地域	所在地・電話	地域	所在地・電話
鳥取	鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲**	出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島**	広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子	米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田**	浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口**	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23 ☎ (0839)86-4050
松江	松江市西津田2丁目10-19 ☎ (0852)23-1128	**岡山**	岡山県都窪郡早島町矢尾807 ☎ (086)292-1162		

四国地区

地域	所在地・電話	地域	所在地・電話	地域	所在地・電話
香川	高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-9477	**高知**	南国市岡豊町中島331-1 ☎ (088)866-3142	**愛媛**	松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-2144
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108 ☎ (088)698-1125				

九州地区

地域	所在地・電話	地域	所在地・電話	地域	所在地・電話
福岡	春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分**	大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草**	本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2 ☎ (0952)26-9151	**宮崎**	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2 ☎ (0985)85-6530	**鹿児島**	鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎	長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本**	熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島**	名瀬市矢之脇町10-5 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0101

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

Panasonic ポータブルDVD／ビデオCD／CDプレーヤー DVD-LV60/DVD-PV40 取扱説明書

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

愛情点検	長年ご使用のポータブルDVD/ビデオCD/CDプレーヤーの点検を！		
	こんな症状はありませんか	●煙が出たり、異常なにおいや音がする ●映像や音声が出ないことがある ●正常に動作しないことがある ●商品に破損した部分がある ●その他の異常や故障がある	**このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。**

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　月　日	品　番	
販売店名	☎（　）　－		
お客様ご相談窓口	☎（　）　－		

松下電器産業株式会社 デジタルAVネットワーク事業部

〒571－8505 大阪府門真市松生町1番4号

RQT5930-S
F0301EH1041